

第3回高知県教育委員会協議会

— 次第 —

1 日時 平成28年11月24日(木) 18:30~20:00

2 会場 高知共済会館 3階「大ホール 桜」

高知市本町5丁目3-20 (電話) 088-823-3211

3 内容

(1) 開会

(2) 校名についての協議、決定

ア 高吾地域拠点校

イ 新中高一貫教育校

(3) 閉会

平成 28 年度第 2 回高知県教育委員会協議会 議事概要

【日 時】平成 28 年 11 月 21 日 (月) 18:30~19:28

【場 所】高知県庁正庁ホール

1. 前回の議事概要の確認

教育委員会事務局から説明

2. 校名についての協議

(1) 高吾地域拠点校について

(委員) 校名が「須崎総合高校」となることで、就職時等に生徒に不利益が出ないように事務局は配慮をしてほしい。また、総合学科の学校と誤解されないように周知を図ってほしい。

(事務局) 工業科の内容を確実に引き継ぐ、新しい学校の教育内容を企業、大学等にピーアールしていきたい。

(教育長) 委員は、校名と理由は了承しているのので、次回に正式に決定する。

(2) 新中高一貫教育校について

- ・ 4つの校名候補の中から選ぶことは、前回確認。
- ・ 協議のポイントになる事項は、次の3点の他にはないことを確認。

【1】 どういう事項を重視して校名を考えるべきか

(委員) 大学も含めて、校名はどのようにつけられているのかを考えた時に、

- (1) 地域、地名、人名、明治大正などの時代。この例が西、西南。
- (2) 学校の特色であれば工業、農業などの学校の名前。この例が国際、総合。
- (3) 建学の精神、私学にある理念を表す校名。この例が、高知立志館。
- (4) これらのミックスした校名もある。

新設校の場合は、歴史も伝統もないが、今回の統合校は両校関係者が主張しているように、新設校とは違う難しさがある。伝統も大事だが、将来の若者が夢を持って通う学校として、どういう名前がふさわしいか考えることを大事にしたい。

(委員) 応募の校名には、高知らしさを感じるものや気持ちが伝わる意見が数多くあった。何を目指した学校なのかを第一に考えたい。

(委員) 自分なりに整理の途中ではあるが、次の3点を考えた。

- (1) 学校関係者の校名に対する愛着が非常に強い。そのため、南中高、西高の両校に配慮していくことが必要。出身校がなくなることはさびしいと同時に両校の良いところを発展、飛躍していくことが必要。
- (2) 新しい学校の校名が、もし西高でない場合に、現実的なデメリットについて応募の理由の中から考えた時に、
 - ・ 「余計な出費が必要」というのは予算の都合で校名を決めるのは違うと思う。
 - ・ 「校風と校名の関係」は、直接の関係はなく、それは別途対応すべきこと。
 - ・ 「現場の混乱」は、課題を想定して事前に対応していくべきこと。
 - ・ 残る懸念である「高知西の校名がなくなれば生徒にとって進学等で不利益」が事実なら大変なことであり、対応が必要。
- (3) 柱は、グローバル教育。英語力は目的ではない。グローバル教育とは、世界の現実に対して、全ての人々の目と心を開かせて、全ての人に平等に気づきを促す教育。その実践的なものが国際バカロレアであり、10の学習者像を普通科も含めた学校全体で重視する学校。英語を重視して発展させるのではなく、これまでにない学習をする。そのために英語を使うもの。この考え方は何も特別なことではなく、文科省

もアクティブラーニングとして、次の学習指導要領に定める内容を、高知県が先陣を切ってやっていくもの。

以上をまとめると、

- (1) 学校への愛着、さみしさへどう両校に配慮するか。
- (2) 仮に校名が変わるとすれば、どんな配慮ができるのか。
- (3) グローバル教育については、これまでにない学校を見せることが必要なのか。

以上を整理して、校名をどうするかは考えていきたい。

(事務局)「校名が変わったら進学が不利となる」ことについては、具体的なデータはない。しかし、校名が変わっても教育内容は受け継がれていくことを周知するよう、できる限りの対応をとっていく。

(委員) ①新しい中高一貫教育校の教育内容、特色。②報告書の内容。③公募の結果、学校代表者の意見を総合的に考えて、入学生、在校生の自信や誇りにつながる校名を判断したい。

(委員) 前回の学校代表者の方の発言を参考にさせていただく。これからの教育に向けた新校は、グローバル教育が柱となることを目指している。他者への尊重、「英語を学ぶ」ではなく「多様性を認め、尊重する」。それがどの校名なのか結論は出ていないが。

(教育長)

- ・この場でどう考えるべきか統一することは考えていない。
- ・他の委員の意見を踏まえて、次回、最終の決定の際の材料にしてもらえれば。

【2】校名に関する検討委員会の優先順位をどう受け止めるか

(委員) 校名に絞った委員会を計 8 回、うち公募結果を受けて 3 回開催。十分に尊重したい。次の公募の数も同じことが言えるが、具体的な数をどう考えるか。分母の母数をどうとるかによって、評価は随分変わってくる。

西は「高知西が公募の 90%」、南は「校名候補の数でいえば、6 割が新しい校名を応募」と主張したが、具体的な数字については考えないでおきたい。

(教育長) 検討委員会委員の一人から、「優先順位を付けたら、きちんと受け止めてほしい」という要望があり、私からは、「優先順位が付けば、当然順位は、優先する。しかし、必ずしも優先順位の高いものから決めるというわけではない」と説明している。

(委員) 8 回の検討委員会を開催、うち公募結果後に 3 回。議事録からは、議論が大変積み上げられた結果であり、優先順位は重く受け止めたい。

(委員) 教育委員会で丁寧に議論した結果だと考えている。候補、優先順位は尊重すべき。

(委員) 8 回にわたり議論し、付けられた優先順位を参考にしたい。

(委員) 尊重すべきだと思うが、いろいろな意見をこの協議会の場でも予断を排して考えていきたい。

【3】公募の数をどう受け止めるか

(委員) 大変、難しい問題。運動をされたことに敬意を表す。南中高校も統合反対の署名を集めていた。「応募多数の名称が選ばれるとは限らない」という原則はしっかり考える。両校関係者がパワーを発揮して活動された。是非とも、統合校にそれを生かしてほしい。

(委員) 西高の数を集めた大変さは分かる。145 候補の内容を重視して判断したい。

(委員) 募集要項で「応募多数の名称が選ばれるとは限らない」としていても、組織力を発揮して集めた。そのことが結果的に重みを感じている。一票しかないのが 93 候補。一票しかないものでも、良く考えられている。複数応募がある候補が素晴らしいわけではない。

(委員) 尊重して認めるが、応募多数で決めるものではない。

(委員) 数の評価はいろいろあるので、数そのものの評価はしない。西の応募理由は重視して考えたい。

高吾地域拠点校の校名について（案）

校名	校名とする理由
<p>高知県立</p> <p>すさきそうごう</p> <p>〔 須崎総合 〕</p> <p>高等学校</p>	<p>現在の両校の校名に共通する「須崎」の地名を付けることで、どこにある学校かわかりやすい。</p> <p>また、全日制の普通科・工業科と定時制が一つになるという意味で、「総合」とすることがふさわしいと考える。</p> <p>なお、この校名については、両校の学校関係者が話し合いのうえ、思いが一致していることから、校名とするにふさわしい。</p>

新中高一貫教育校の校名候補について

次の4つを校名候補として、県教育委員会に報告する。

優先 順位	校名候補名	校名候補とする理由
1	高知県立 こうちこくさい 〔高知国際〕 中学校・高等学校	<p>両校の特色とこれまでの実績を踏まえたグローバル教育の推進校であり、新たな教育内容、目指すところを考えると、国際バカロレアの導入校にふさわしく、国際的に活躍する人材を育成する学校ということを示す校名である。</p> <p>また、高知という地名、国際というグローバルな教育指標を持った学校であることが一目瞭然であり、校名候補とするにふさわしい。</p>
2	高知県立 こうちにし 〔高知西〕 中学校・高等学校	<p>統合校は、高知西高校の敷地を利用し、建物の多くもそのまま使用されることに加え、公募結果からも「高知西」を愛し大切にしている関係者も多く、県民に親しまれ、信頼されている校名である。</p> <p>また、これまでの60年の実績と伝統、校風、知名度を生かし、バカロレア教育での新しい教育カリキュラムを新生「高知西」に委ねるという期待も込めて、校名候補とするにふさわしい。</p>
3	高知県立 こうちりっしかん 〔高知立志館〕 中学校・高等学校	<p>「志」は高知県教育の柱にしている言葉であり、「立志」には高知の教育を過去から未来へつなげる意味と、グローバル教育で育った生徒たちが高い志を持ってこれからのグローバル社会で思い切って活躍してほしいという願いが込められている校名である。</p> <p>また、「館」を冠する学校は県内初であることから、新しい中高一貫教育校の校名候補とするにふさわしい。</p>
4	高知県立 こうちせいなん 〔高知西南〕 中学校・高等学校	<p>両校の歴史と伝統を引き継ぎ、次の世代へと繋いでいくということから考えれば、両校の校名を残すことも一つの考えであり、高知城・県庁から見て地理的に西南にあることも、校名として不自然さを感じさせない校名である。</p> <p>また、2校の統合により新たな学校が生まれるにあたり、最もシンプルな校名であることから、校名候補とするにふさわしい。</p>

統合校の校名決定スケジュール

H28年

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

「高知県立学校の校名に関する検討委員会」の役割

校名候補の決定方法を協議・決定

校名候補の協議・決定

第一回 校名に関する検討委員会 2/22

校名の決定方法について協議
校名の決定方法について協議

第二回 校名に関する検討委員会 4/12

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

検討委員会による統校訪問
高知南及び高知西須崎工業及び須崎

第四回 校名に関する検討委員会 7/13

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

第五回 校名に関する検討委員会 8/1

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

県民の意見を聞く(公募) 9/1～9/30

第六回 校名に関する検討委員会 10/20

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

第七回 校名に関する検討委員会 10/26

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

第八回 校名に関する検討委員会 11/3

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

校名候補に関する報告書 提出 11/10

第一回 教育委員会協議会 11/14

統合校の校名決定方法について協議
校名決定方法について協議
校名決定方法について協議

第二回 教育委員会協議会 11/21

校名決定方法について協議

第三回 教育委員会協議会 11/24

校名決定方法について協議

教育委員会で決定

校名決定方法について協議

県議会で条例改正

校名決定方法について協議

(※校名候補については、複数の場合も含む)

高知県教育委員会

職名	氏名
教育長	たむら そうじ 田村 壮児
委員	ひさまつ ともみ 久松 朋水
委員	たけしま まさよ 竹島 晶代
委員	はった あきみつ 八田 章光
委員	なかはし くみ 中橋 紅美
委員	ひらた けんいち 平田 健一